

千葉市感染症発生動向調査情報

2017年 第47週 (11/20-11/26) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		47週	46週	45週	44週
上段:患者数	小児科	18	18	18	18
下段:定点当たりの患者数	眼科	5	4	5	5
	インフルエンザ*	28	28	28	28
	基幹定点	1	1	1	1

「定点当たりの患者数」とは報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市						千葉県
		注意報	11/20-11/26	11/13-11/19	11/6-11/12	10/30-11/5	11/13-11/19	
			47週	46週	45週	44週	46週	
小児科	RSウイルス感染症		4	3	5	1	44	
	咽頭結膜熱		4	2	6	3	61	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	44	53	36	29	423	
	感染性胃腸炎		113	90	69	70	652	
	水痘		12	8	6	4	67	
	手足口病		28	19	27	41	188	
	伝染性紅斑		3	0	1	2	3	
	突発性発しん		4	10	10	8	45	
	百日咳		0	0	0	0	1	
	ヘルパンギーナ		4	0	3	4	12	
	流行性耳下腺炎		4	6	9	5	27	
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)	○	49	23	8	9	203	
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	1	
	流行性角結膜炎		5	5	4	4	31	
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0	
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	3	
	マイコプラズマ肺炎		0	1	0	0	6	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0	

★★:流行中 ★:やや流行中 ○:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(4件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	70歳代	IGRA検査等	E型肝炎	男性	40歳代	血清IgA抗体の検出
結核	女性	50歳代	IGRA検査	後天性免疫不全症候群	男性	30歳代	血清抗体の検出

・第47週は、結核2件(191)、E型肝炎1件(5)、後天性免疫不全症候群1件(5)の報告があった。

※ ()内は2017年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

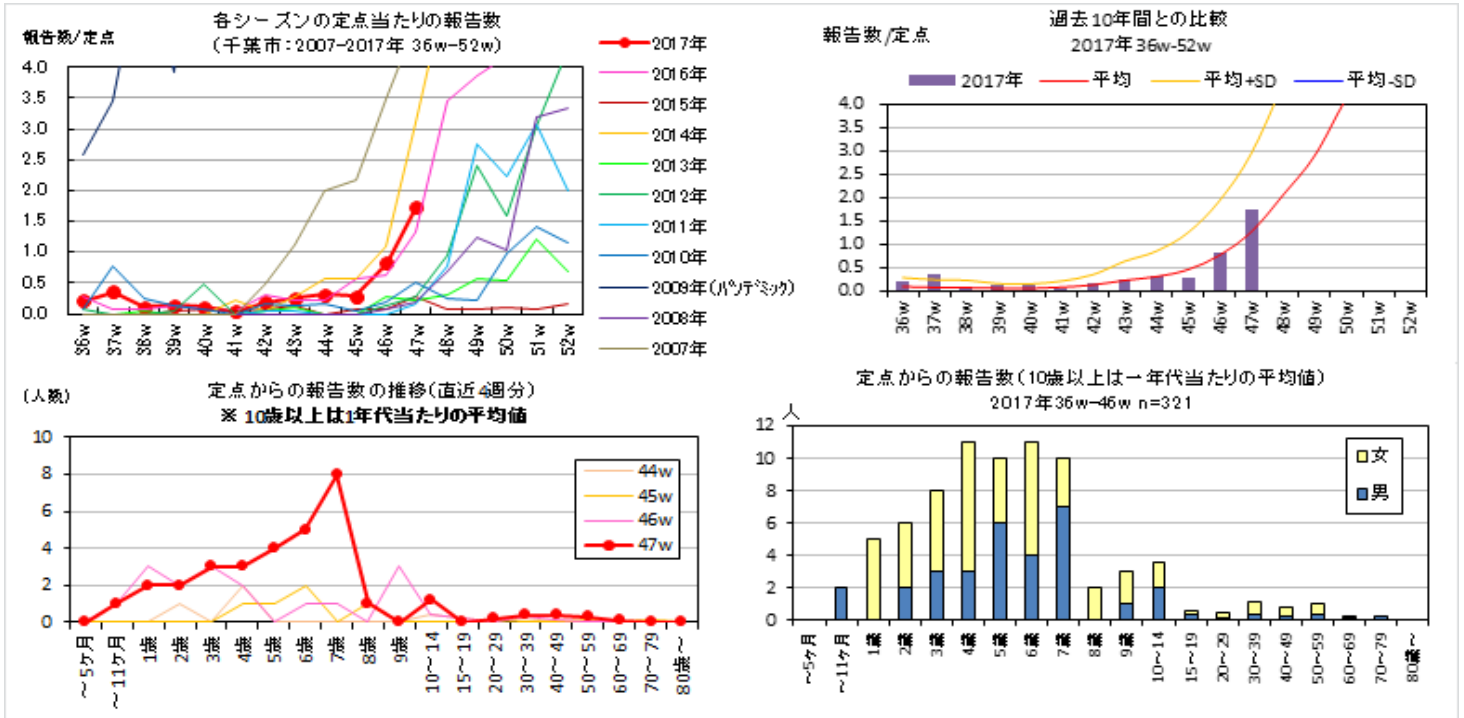
定点当たり報告数 第47週のコメント

<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎> 前週より減少し2.44となったが、過去10年の同時期と比べると多め。
<インフルエンザ> 前週より増加し1.75となり、流行開始の目安とされる1.0を上回った。過去10年の同時期と比べると多め。

■ トピック ■

<インフルエンザ>

全国レベルの第46週は、過去10年の同時期と比べると多めとなっています。都道府県別では沖縄県、長崎県、宮城県の順で多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べるとやや多めとなっています。千葉市の2017年第47週は前週より増加し1.75となり、流行開始の目安とされる1.0を上回りました。過去10年の同時期と比べると多めとなっています。型別迅速診断結果では、A型が85.7%となっています。区別の発生状況は、稲毛区(3.25/定点)で最多で、年齢階級別では10歳代前半が最も多く、一年代当たりでは7歳で最も多く発生報告がありました。今シーズンである2017年第36週から第47週までの累積報告数(n=127)によると、性別では男性が43.3%(55名)、女性が56.7%(72名)で、年齢階級別では4歳及び6歳(共に8.7%:11名)、5歳及び7歳(共に7.9%:10名)の順に多くっており、未成年は全体の70.1%、10歳未満は全体の53.5%となっています。



<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

全国レベルの第46週は、過去10年の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では鳥取県、山形県、北海道の順で多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べると多くなっています。千葉市の2017年第47週は前週より減少し2.44となりましたが、過去10年の同時期と比べると多くなっています。区別の発生状況は、緑区(4.5/定点)で最多で、同区の5歳及び10歳代前半で最も多く発生報告がありました。今シーズンである2017年第36週から第47週までの累積報告数(n=321)によると、性別では男性が56.4%(181名)、女性が43.6%(140名)で、年齢階級別では4歳及び6歳(共に12.9%:47名)、7歳(12.3%:45名)の順に多くなっています。

